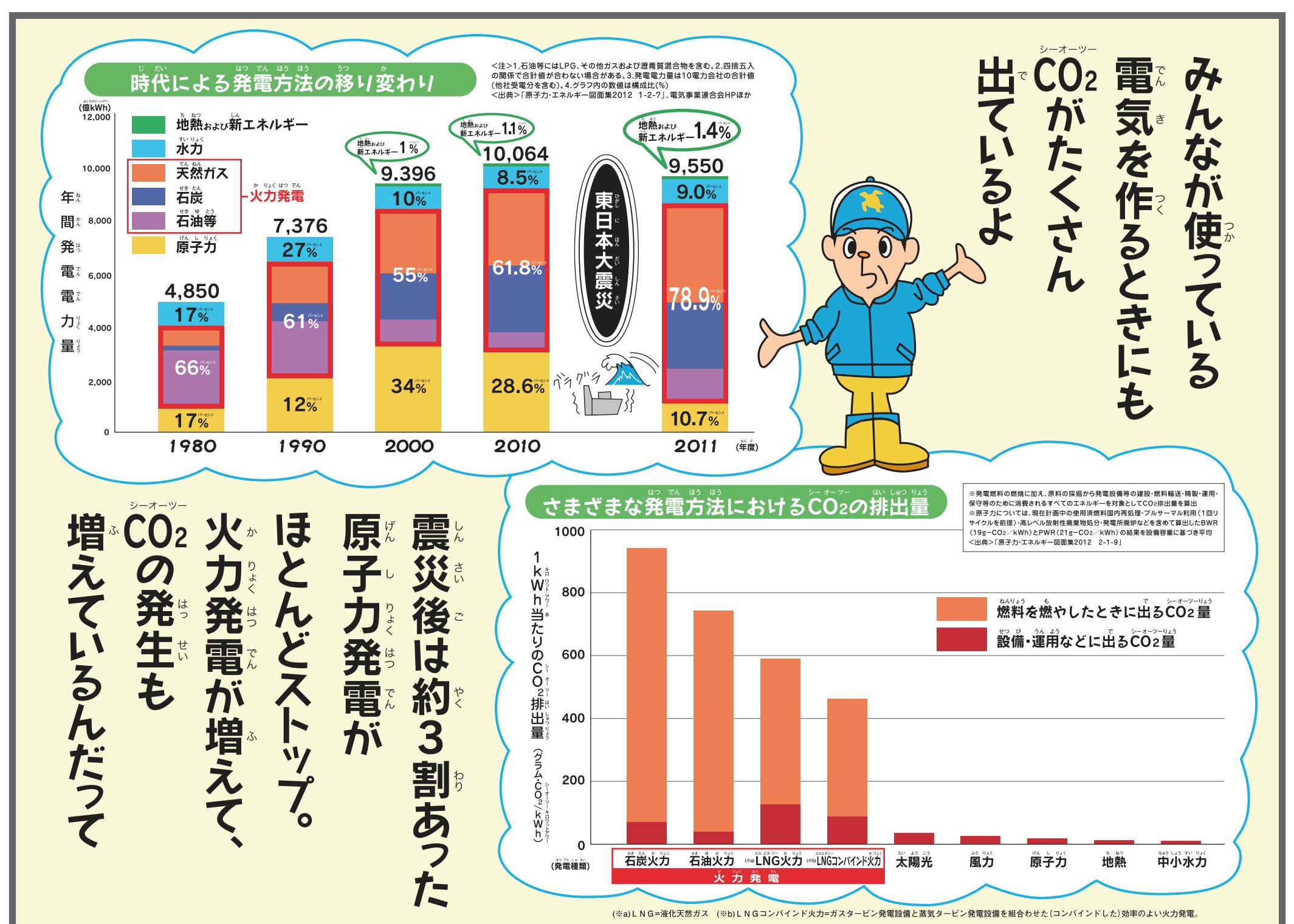
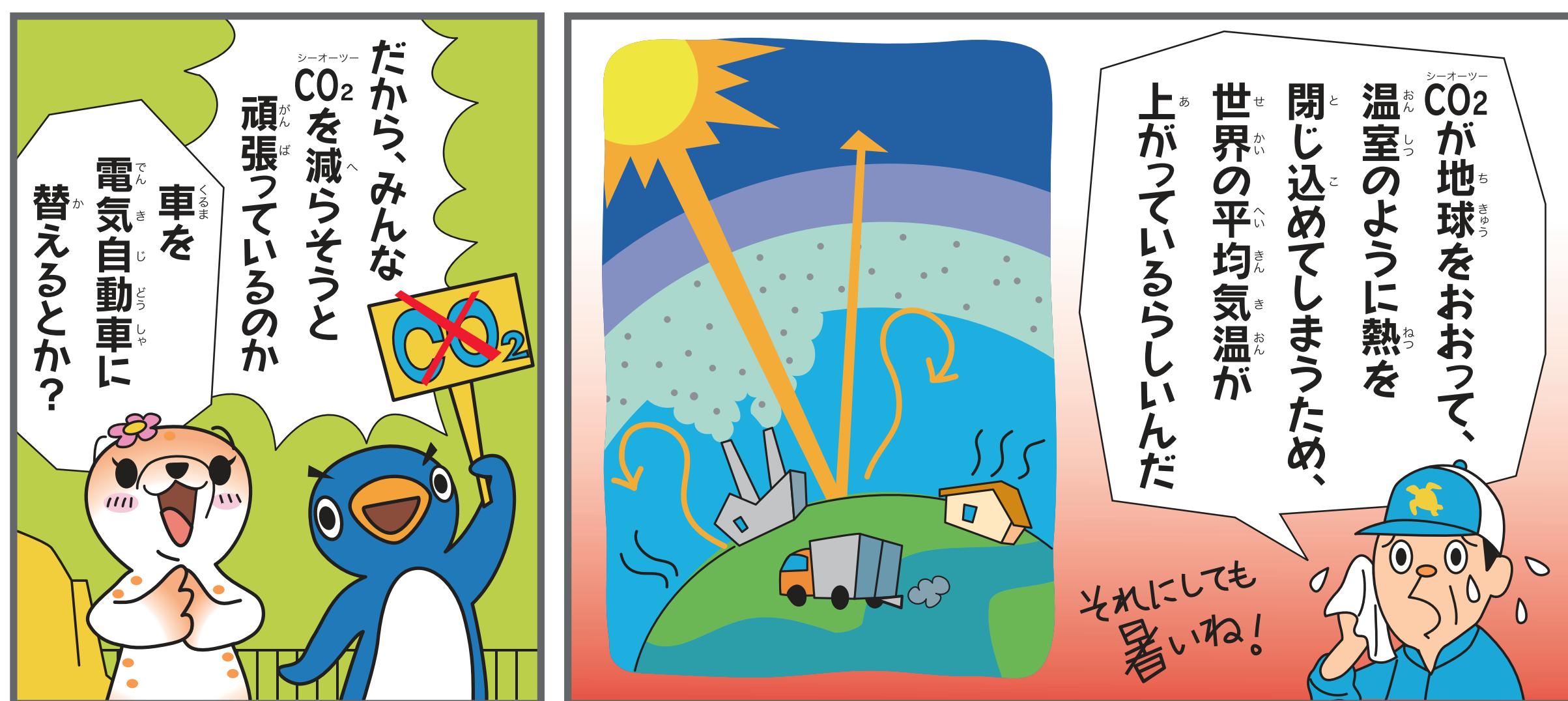
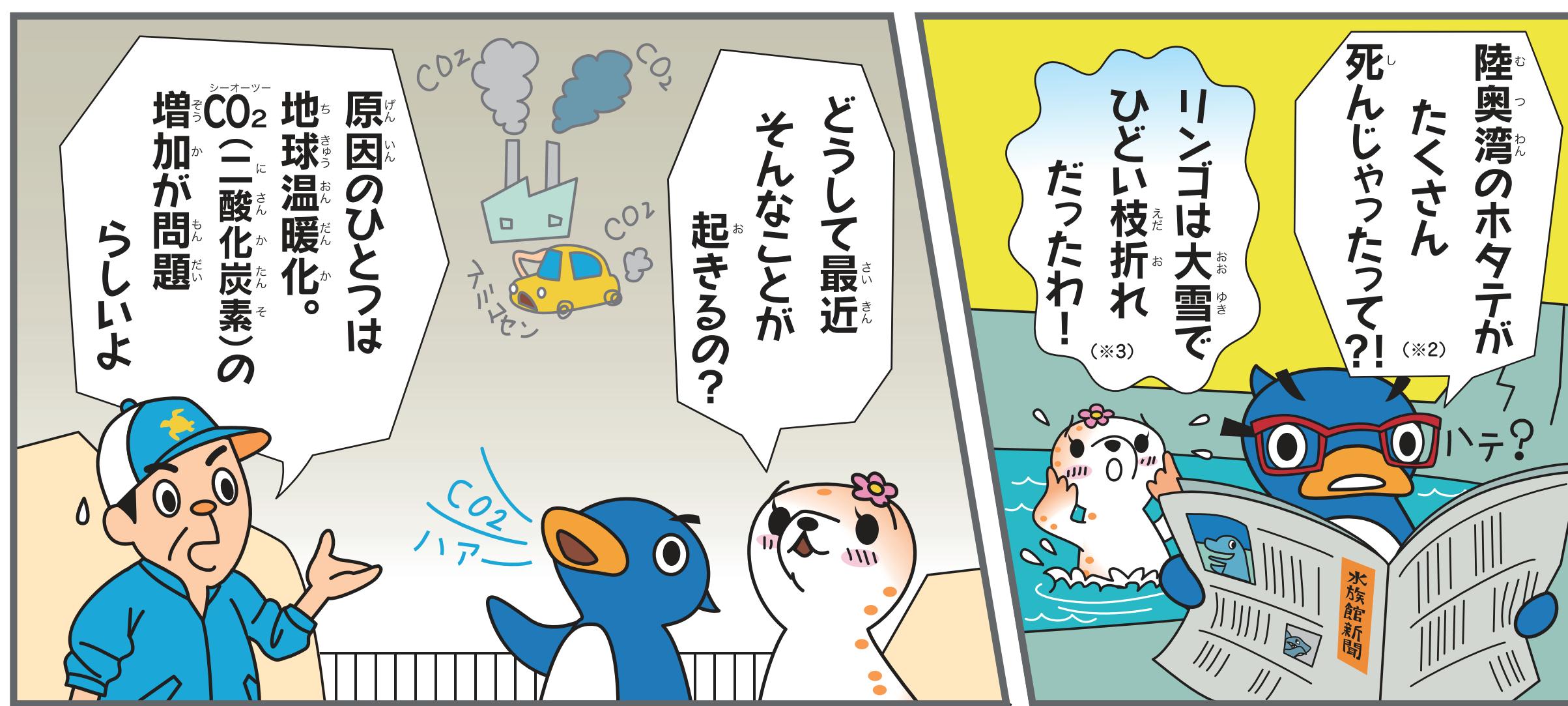


ちきゅう 地球はおかしくなっているの?



環境教育ニュース

2012年
12月17日

エネルギー Club
日本教育新聞社

異常気象が青森に悪影響を与えています。

2012年夏は、八戸で最高気温35度以上を記録しました。これは、観測史上最も暑かった2010年夏と同じく海水温を上昇させ、陸奥湾では養殖中のホタテガイがたくさん死滅しました。また、2012年1月～4月にかけては記録的な豪雪となり、雪による枝折れによってリンゴの木に多数の雪害を与えるました。

(注)マンガの中の※印がついた事象については上記の文章で説明している。

<参考データ>
青森県森林水産部HP、青森県農林水産部総務課資料、青森地方気象台HP、気象庁地球環境・海洋部気候情報科報道資料、地方独立法人青森県震災技術センター・水産庁気象所・陸奥港の水温、青森市15m海底のデータほか

豊かな暮らし
CO₂の増加を引き起こす?!

CO₂の増加が地球温暖化を引き起こす原因のひとつと言われています。そのCO₂は私たちが24時間たえまなく使い続けている電気と大きな関連があり、暮らしが便利に豊かになるほど発電量は増え続けているのです(下の2つのグラフ参照)。その一方、太陽光、風力などの新エネルギーは全体の1%程度しかありません。異常気象に対して、私たちはどうすればいいのでしょうか?

あなたの身の回りで起きた、異常気象が原因と考えられる出来事について調べてみましょう。また、学校や家庭でCO₂の増加を抑えるためにできることを話し合ってみましょう。